

CH-6-Ⅲ-01	<b>東洋医薬学概論</b>	第4学年	前期 選択	1単位
<b>担当者</b>	細野 靖之			
<b>一般目標 (GIO)</b>	病気ではないが病気の一步手前の状態が未病。つまり、予防医学が東洋医学の最も得意なポイントであり、西洋医学ではいわゆる痒いところに手が届かない状態であると思うのです。そもそも漢方薬とは、植物を煎じた物。野菜スープとも考えられます。そして、正しい食べ物と食べ方が健康につながると東洋医学では考えています。本講義では、東洋医学の概念および基礎を学び、卒後社会に出ても十二分に本講義で得た知識を生かせることが出来る様になることが目標となります。			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	1. 本講義でも、古典の文章が出てきます。概念を習得するには不可欠ですので、苦手意識を持つことなく慣れ親しんでいただく。 2. 時には、生薬学を通して東洋医学を見る事が必要になることがあります。広い目で見ることが出来る様に。			
<b>受講心得・準備学習等</b>	東洋医学は、西洋医学とは考え方が全く異なるので必要な知識や準備は必要ないでしょう。ただ、新領域ゆえ時間を無駄にする事無く意欲的に聴講されることを望みます。さらに、興味がありましたら参考書を読まれて、受講前に10分程度でも一読されると良いと思います。			
<b>事後学習・復習等</b>	重要な点は繰り返し又講義の最後に再整理する。そして、次回の講義までにその内容を軽く10分程度で良いので復習されることが望まれる。			
<b>オフィスアワー</b>	授業開始前の20分間は非常勤講師室にて、又、授業間の休憩時間15分は教室内にて、学生からの質問・相談等を受ける時間を取る。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式で行う
回	項目	内容
1	東洋医学の歴史と三大古典	東洋医学の起源から、「黄帝内経」「傷寒雑病論」「神農本草経」について
2	そもそも漢方医学とは?	食養について(正しく食べることが健康につながる)。証とは何か?証を決定することが治療方針、薬を決める
3	陰陽虚実と寒熱表裏	陰と陽、虚と実、寒と熱、表と裏は東洋医学のものさしである
4	気血水	気と血と水の不足、滞りを診断する
5	臓腑	五臓六腑と五行の関係
6	六経と太陽病	傷寒論では、急性伝染病の治療法について述べている。太陽病にはじまり陰病に至るが、その流れと太陽病とその代表的な方剤について
7	陽明病	傷寒論では、急性伝染病の治療法について述べている。陽明病とその代表的な方剤について
8	少陽病	傷寒論では、急性伝染病の治療法について述べている。少陽病とその代表的な方剤について
9	陰病と太陰病	傷寒論では、急性伝染病の治療法について述べている。陰病について。そして、太陰病とその代表的な方剤について
10	少陰病と厥陰病	傷寒論では、急性伝染病の治療法について述べている。少陰病と厥陰病とその代表的な方剤について
11	診断方法	東洋医学では、望・聞・問・切による診断方法を行う。その方法について
12	本草学と生薬薬理	本草学と生薬薬理の違いについて。芍薬甘草湯を例に。その他、薬剤師として知っておきたいことについて

<b>成績評価の方法</b>	定期試験結果を基本に、又、出席状況も勘案し評価する。(尚、規定以上の出席をもって定期試験の受験を認める。)
<b>成績評価の基準</b>	定期試験の結果が、基本的に60点以上を合格とする。
<b>教科書</b>	
<b>参考書など</b>	「漢方薬・生薬の教科書」ビジュアル版東洋医学 花輪壽彦(監修) 新生出版社